

One for All, All for One

～ひとり、みんなのために みんなはひとりのために～

新しい元号『令和』に改まって、早、ひと月が過ぎようとしています。中間テストや修学旅行・校外学習も終了し、令和時代の滑り出しは順調ですか？

”One for All, All for One” この言葉を聞いたことがありますか？

これは、ラグビーでよく使われる言葉で、ボールをたくす1人のために、ほかの14人は全力でボールを守る。そして、ボールをたくされた1人は、みんなのためチームのために全力でゴールをめざし突っ走る。



このように、自分はみんなのために何ができるのか、を考え、そしてひとりひとりのことを、みんなで考える。このことが、人の集まり(家族・チーム・班・学級・学年・部活・学校・地域など)には大切なことだ、と伝えてくれています。

ところが、後のOneとAllを入れかえてみると大変なことが起こってしまいます。

右のように、「自分は自分のために」つまり、周りの人のことなんか考えない。自分のことしか考えない。みんながそんな考えでいたとしたらどんな世の中になっていくでしょう。

One for One,
自分は、自分のために
All for All
みんなは、みんなのために

逆に、「みんなは、みんなのために」は、自分の考えや意見、個性や特徴など、すべて無視される。そんな世の中になってしまいます。それぞれの世の中の様子を想像してみてください。

やはり大切なのは、ひとりひとりの気持ちや考えをみんなが信頼し大事にして、自分もみんなのことを信じ考えてみんなのためになることをしようとする事なのです。

やっぱり ”One for All, All for One” ということですね。

都跡中学校には、...

昇降口にカレンダーを書いてくれる人がおり、朝のあいさつ運動で校門に立ってくれる人がおり、日ごろ掃除のできないところを美しくしようと取組を始めてくれる人がおり、地域の方とともにゴーヤやサツマイモの苗を植えてくれた人がいる。

そのほかにも、長い廊下を端から端まで手で拭いてくれる人、トイレのスリッパをそっと揃えてくれる人、校長室を覗いて会釈をしてくれる人、友達を気遣って声をかけてくれている人...

みんなのために自分のできることをしてくれている人たちがたくさんいる。このことに気づくことが大切ですね。ゴーヤの苗もすくすくと大きくなってきています。あなたの「ありがとう」の声や笑顔に心を和ませている人が必ずいます。このような「ひと」の集まりが都跡中学校だと私は思っています。

修学旅行や校外学習では、四国や京都、奈良町を巡り、その土地の自然や文化財、世界遺産など、素晴らしい「もの」に触れましたね。カツオのたたき作りや和菓子作り、からくりおもちゃ遊びなど、楽しいおいしい「こと」もありました。そして、何よりお世話になった四万十の民家さんや和菓子作りを教わった職人さん、からくりおもちゃ遊びや耐震構造を教わった方々...その土地でこそその「ひと」とはじめての出会いがありました。

『旅』は、私たちにいろんなことを学ばせてくれます。

旅をすることで、ふるさとである「都跡」のすばらしい「ひと」「もの」「こと」に気づいてくれることを願っています。

そして、ひとり、みんなのために何ができるのか。みんなはひとりのことを考えあうホッとできるホットな都跡中学校であってほしいと考えています。

五月晴れの青空を翔る白鷺を見上げながら...

